

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ：追試験）

小 論 文

初等教育教員養成課程

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に横書きで記入すること。
2. 解答紙には必ず受験番号を記入すること。

〔問〕 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

「教師の資質は子どもが好きなこと」か？

「いい先生」や「期待する教師」については、これまで研究者や教育委員会などによってアンケート調査がおこなわれてきたが、どの調査の回答もほぼ似通っている。小中高生は「授業が分かりやすい」「親しみやすい」「公平性」などを、保護者は「教育への熱意がある」「子どもに愛情をもつ」「授業が分かりやすい」などをいつも上位に挙げている。

そうした子どもや保護者の要望にも沿うように、資質・能力の向上が必要ということには誰もが賛同し、教育改革が論議されるときにはいつも教師の資質・能力向上が高らかに叫ばれる。ところが、資質・能力の意味はなお曖昧であり、資質・能力の向上に関する意見の前提が食い違っていたりして、議論が錯綜^{さくそう}していることがしばしばある。

まず、資質と能力との関係について細かく検討してみよう。小学校教師〔退・男〕が挙げた次の事例は、①教師の資質として普段何気なく理解していることに見落としがある点を指摘している。

教師に望まれる資質として「子どもが好きなこと」がよく言われます。私の周辺にも「子どもが好き」と口癖にしている同僚がいました。ところがよく見ていると、それは半分の事実しか言っていないことに気づきました。つまり、気の合う子どもは好きでも、そうでない子はそれほど好きではないのです。教師も生身の人間ですから、どんな子どもでもすべて好きというわけにはいかないと思います。

30人のクラスだったら、なかに数人は聞き分けのない子や肌の合わない子、目立たない子がいるはずです。そうした子どもたちのことはつい除外して、残りの大部分の子どもを念頭に置いて子どもが好きだと言ってしまうがちです。問題は無意識的に除外されがちな子どもたちに対して担任教師はどう接するののかということです。「子どもが好き」という教師の資質の真価が問われるのは実はその

点にこそあるのではないのでしょうか。

そこで、「子どもが好き」という言い古された表現は次のように修正すべきでしょう——「たとえ肌が合わないと感じる子でも、意思疎通をはかってその子を理解しようと最大限努力するのが子どもを好きな教師である」と。

「子どもが好き」という態度は教師の資質の側面に属する。しかし、「たとえ肌が合わないと感じる子でも、意思疎通をはかってその子を理解しようとする」資質を発揮するためには、子ども理解に関する一定の知識と技術を必要とする。たとえば、その子どもの発達段階の特徴は何か、子どもがつくウソにどんな意味が潜んでいるか、その子の背後にどのような家庭背景や地域背景があるか、などは子ども理解の基本的知識であり、そうした知識を得ながら指導に生かすことのできる技術である。

子どもと向き合うときのそうした知識や技術は能力の側面に属する。大学の教職課程で学生に向かって「子どもを好きになりなさい」と伝えたところで、学生がそれを具体的につかむのは難しい。しかし、子ども理解の知識や技術を指導すれば能力として身につけることは可能である。そして、その能力は教職に就いてからも毎日の経験や日頃の研修を通じて磨かれていこう。

つまり、「子どもが好き」であることは教師の人間性としての資質だけに根ざすのではなく、能力の側面がないと実は子どもが好きな教師にはなれないのだ。逆に言えば、能力を高めることによって、肌が合わずに手がかり過ぎる（と感じる）子どもが苦手という根深くて固定的な資質にも少しずつ変化が生じるかもしれない。知識と技術に基づいて積極的に努力した結果、あれだけかたくなだった子が少しでも反応を見せたことがきっかけとなって、その教師は気が合わないと感じていた子を徐々に好きになっていく、というように。

(出典) 今津孝次郎 (著) 『教師が育つ条件』 岩波新書、2012年、pp.47-50 (設問の都合により本文の一部を省略・改変している)

(問 1) 下線部 (1) で指摘されている「見落とし」とは何のことですか。本文中の事例・言葉を用いて、100 字以内で説明しなさい。なお、「～～～ということ。」という形で解答すること。

(問 2) あなたが重視する「教員の資質」とは何ですか。また、その資質を高めるために、あなたは大学でどのように能力を高めたいと思いますか。本文の内容を踏まえた上で、「資質」「能力」「知識」「技術」という 4 つの言葉を必ず使い、320 字以上 400 字以内で論じなさい。なお、冒頭にあなたが重視する「教員の資質」を明示すること。